

官公庁、企業など団体内で、組織的、継続的に記事を切り抜いて複製し、利用する行為を「クリッピング」と呼びます。クリッピングをするには中国新聞社との契約が必要です。紙のコピーだけでなく、メール送信、イントラネットでの共有などデジタル利用も対象です。【注1参照】

クリッピングに該当しない少数、小規模な複製も許諾が必要です。【注2参照】



記事の大半は著作権法が定める「著作物」に当たります。  
特定の場合を除き、無許諾での複製利用は違法です

【注1】クリッピングとは、特定の媒体の記事を同一組織または同一部署の中で  
おおむね月5記事以上、複製利用する場合を指します

【注2】クリッピングに当たらない複製で、次の場合は公益社団法人日本複製権  
センター（JRRC）との包括契約をおすすめします  
※団体内での20部までの紙のコピー、30人までの電子ファイルの共有

## ■クリッピング利用契約の手順



- ◎契約は1年単位です（希望月からの利用が可能です）
- ◎月間の利用予定記事数と、配布枚数やメール送信数などから  
月額料金を算出します
- ◎利用後に請求書を発行します

著作権法では「行政目的のために内部資料として必要と認められる場合」に限って複製などができるとしています。  
行政目的とは「国家意思等を決定し行使するのに必要な場合」を指します。執務参考資料としての複製には許諾が必要です



(株)中国新聞社 読者広報部 行

FAX 082 (236) 2456

[dokusha-ten@chugoku-np.co.jp](mailto:dokusha-ten@chugoku-np.co.jp)

年 月 日

## クリッピング利用 見積依頼書

企業・団体名	
担当部署	
担当者	
住所	〒
連絡先	電話
	FAX
	メール

### ■利用内容について

開始希望年月	年 月～
記事数／月	件程度
配布数／回	部
配信数／回	台 ※イントラ利用やメール送信がある場合
見積書宛名	

お問い合わせ：中国新聞社 読者広報部

担当：山本

☎ 082-236-2455（平日10:00～17:00）